

世界大会への参加国・地域について（その2）

4月17日の発信において、ロシア人選手の参加を条件付きで認めることにしたことを報告しました。しかしその後、ロシア空道連盟より、「国際情勢によりロシアスポーツ省から今回選手の海外派遣を見送るよう強い推奨があったため、再検討した結果、ロシア空道が選手の出場を見送ることを決定した」という連絡がありました。

たいへん残念なことではありますが、既に選手の人選も進んでいた中で、もっともショックを受けたのは選手であったと思います。

KIFとしては、古くからの仲間であるロシアの空道選手およびウクライナの空道選手の双方からの世界大会への参加を模索してきましたが、いずれも、最終的にはスポーツ省やスポーツ連盟の方針に従わざるを得なかったということであり、残念なかぎりです。

出場が叶わなかったロシア、ウクライナ両国の選手たちの分も、空道を愛する世界の仲間たちが熱く闘ってくれるものと確信しています。また、闘いを終えた者たちの心は自ずと、相手がどの国・地域の選手であるかなどということより、相手がこの競技を愛しその技術を磨いた同志であることへの喜びに満ち溢れるものと信じています。

いろいろな形での争いが続く混迷する世界であるからこそ、空道という武道を通して世界の平和と協調を追求し、それを実現する場として、空道の世界大会が開催されることを切に願います。

2023年5月8日
KIF 理事長・全日本空道連盟理事長
高橋英明